

「 $d'=0$ 」の検定

式 11.10 によって「 $d'=0$ 」の検定を行うプログラム PTestD.exe を実行すると図 1 のフォームが提示される。

図 1 起動時のフォーム

フォーム左上の String Grid コンポーネント内にデータを設定する。図 2 は例 11.5 のデー

図 2 データの設定

タを設定したものである。データの設定後、「計算」ボタンをクリックすると計算が始まり、

	NO	YES
ノイズ	39	21
シグナル	15	45

値を設定して、「計算」ボタンをクリックして下さい。

$d' = 1.0598$
 $\text{Lambda} = -0.12566$
 $\text{Var}(p) = 0.004125$
 $\text{Var}(d') = 0.052661$
 $z = 4.6183$
 $p\text{-value} = 1.9345\text{E-}6$

計算

閉じる

ファイルに出力

図3 計算結果の表示

計算結果が右の memo コンポーネント内に表示される(図3)。Memo コンポーネント内に表示されているものは、「ファイルに出力」ボタンのクリックでファイルにテキストファイルとして書き出すことができる。